

健康教育指導法

必修 開講年次：3年次後期 科目区分：演習 単位：1単位 講義時間：30時間

■**科目のねらい**：人々が自らの健康を増進する力を育むために実践する健康教育について、基本的な理念と知識、教育活動に必要な方法を理解する。

- 到達目標**：1. 健康教育の定義、目的を説明することができる。
 2. 健康教育実践に必要な知識・態度・技能を身につけることができる。
 3. 対象集団の健康課題をアセスメントし、効果的な健康教育計画を立案できる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎田中 里江・本田 光・櫻井 繭子・近藤 圭子

■**授業計画・内容**：

- 第1回 コースガイダンス、看護における健康教育
 第2回 健康教育の方法・媒体
 第3回 健康教育の基礎知識
 第4回 健康教育の計画・実施・評価
 第5-8回 健康教育演習（グループワーク）
 第9回 中間セミナー（健康教育指導案の意見交換）
 第10回 健康教育演習（グループワーク）
 第11-12回 健康教育演習デモンストレーション
 第13-15回 健康教育発表会

■**教科書**：標準保健師講座2 公衆衛生看護技術 医学書院

■**参考文献**：「最新保健学講座別巻1 健康教育論」／宮坂忠夫 他（メヂカルフレンド社）
 毎日の食事のカロリーガイド5訂増補 女子栄養大学出版社

■**成績評価基準と方法**：ミニテスト・授業外課題40%、提出物30%、授業・演習態度30%を総合的に評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標 ①	到達目標 ②	到達目標 ③		
ミニテスト 授業外課題	◎	◎	○	・4回の授業のミニテスト(5点×4回=20点) ・4回の授業外課題とその学び(5点×4回=20点) (塩分計、糖度計、基礎代謝量、万歩計) ・提出期限遅れ 1点減点	40
提出物 発表会	○	◎	◎	・各単元の学習目標および提出物の作成意図を理解していること。 ・確かな根拠に基づき、創意工夫がみられること。 ・発表会での役割を果たしていること。 ・提出期限が守られていること。 ・提出期限遅れ 1点減点	30
授業・演習態度 個人作業レポート	○	◎	◎	・グループワークへの参加状況を毎回個人作業レポートに記載(積極性・役割遂行・発表会での役割・メンバーとの協働) ・最終提出の「演習の学びレポート」を担当教員が評価する。 ・欠席や不参加 1点減点	30
出席				2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：公衆衛生保健学概論、公衆衛生学、人間援助論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護援助論I、臨床栄養学 など

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：健康教育実践に必要な知識や技術を学ぶとともに、自分自身の日常生活や保健行動を振り返る機会としましょう。演習では、すべてのグループがプレゼンテーションをし、聴衆から直接評価をいただき、改善に向けての考察を加えます。他者の健康を支援する専門職にふさわしいといえるヘルスリテラシーを高めてください。